執筆　編集　発行
碧南市特別支援教育推進活動委員会
啓発活動部

碧南市特別支援教育推進活動委員会だより

ささえあい　第58号

碧南市特別支援教育推進委員会では、児童・生徒が将来自立できるよう援助する活動を計画し、推進しています。また、市民のみなさんに特別支援教育を一層理解していただけるよう「ささえあい」を発行しています。今号は、特別支援学級の交流活動や昨年度、中学校を卒業した生徒の進路先などを紹介します。

交流活動　中央中学校のお兄さんお姉さんと遊んだよ！

日進小学校

日進小学校の南組では、毎年、６月と12月に中央中学校の１年生の子と交流会を行っています。今年も６月26日㈮、あいにくの雨の中でしたが、自転車に乗って会いに来てくれました。

最初は、お互い少し緊張気味でしたが、自己紹介が終わり、すごろく（愛知県三河ver.）が始まると、「ぼくは、この車（コマ）に乗るよ！」「みどりの学校についたよ！」「見て見て！お城もあるよ」と大盛り上がりでした。

後半は、グループに分かれて、あやとり・紙飛行機・トランプを楽しみました。お兄さんやお姉さんに手を持って教えてもらい、皆、満面の笑顔。とても良い交流ができました。「12月が早く来て欲しい！」と、次回も今から楽しみにしています。

（日進小学校と中央中学校の交流の様子）

碧南市特別支援教育講演会

「社会で自立した大人になっていくために、今、できること」
～作業療法士の視点から～

◎講　師　　指定障害児通所支援事業所　りはくる
　　施設代表・作業療法士　小幡一美 先生
◎日　時　　平成27年７月19日㈰　午後２時～
◎場　所　　碧南市文化会館

（小幡一美先生）

碧南市特別支援教育推進活動委員会では、毎年、市内の小中学校の保護者・教員・学校関係者の方々に特別支援教育の理解を深めていただくために、講演会を行っています。今年度は、りはくるの施設代表者・作業療法士の小幡一美先生をお招きし、子どもたちの行動の裏に隠された本当の原因や子どもたちが大人になっていくために、今、できることについてお話をしていただきました。

「家ではよく踊るのに、園や学校では踊らない。」「すぐに席を立つ。」「姿勢が悪い。」などの気になる行動について、その原因や対応の仕方について教えていただきました。参加者が実際に片足立ちをしながら見せられたものを書き写す体験をしたり、目隠しをしてボールを受け取るように言われたときにどんな動きをするかを見たりすることで、動きの感覚に問題のあるためにそういう気になる行動を起こしていることがよくわかりました。

保護者・学校・福祉関係・医療関係など立場は違っても、大人たちが手を取り合ったりぶつかりあったりしながら子どもたちのことを考えていくことが大切で、それを見て子どもたちが頑張ろうとする気持ちがもてるのではと話されました。

今回、ご講演いただいたことを、これからの子どもたちの支援に役立てていきたいと思います。

（棚尾小学校　啓発係）

中学卒業後の進路

【市内中学校特別支援学級生徒の進路】

		26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度
特別支援学校	安城特別支援学校	３	３	５	９	９		５	７
	半田特別支援学校桃花校舎			１			２		１
	豊田高等特別支援学校	３	４	４	２		２	２	１
職業訓練校		１			１	２		２	
専修学校					１	１			
各種学校			１	１	１				
家事従事			１	１					

※平成26年度、転居のため他地区の特別支援学校に進学した生徒が１名います。

平成26年度、碧南市内の特別支援学級を卒業した生徒は８名で、その進路は上の表のとおりです。

進路指導は、早いほどよいと言われています。中学校は、３年間しかありませんので、小学校の段階から、進路について家庭や学校で話し合いをもつことをおすすめします。

安城特別支援学校の高等部の学校見学会は、今まで中学校３年生の生徒のみでしたが、今年度からは中学校２年生の生徒も参加できるようになりました。現在中学校１年生のみなさんは、来年度ぜひ参加してください。中学校３年生の１学期の時点で、受験する学校が決まっているといいですね。高等部の先生からは、今のうちに、いろいろなことにチャレンジしてくださいと話がありました。へきなん広報に掲載されている催し等に、積極的に参加してみましょう。

家庭と中学校が連携して、あいさつや受け答えの仕方を、少しずつ根気よく身につけさせていきたいですね。

（西端中学校　啓発係）

健康課からのお知らせ
～子どもの成長と乳幼児健診～

子どもには、月齢や年齢ごとの成長、発達段階があります。乳幼児健診は、それぞれ時期において成長、発達が順調か確認ができる機会になります。また、乳幼児健診を受けることで、お子さんの健康状態を確認でき、生活習慣の見直しの機会にもなります。

１歳６か月ころでは、言語の理解ができるようになり、少しずつ言葉が話せるようになりますが、気持ちと発語のバランスがとれていないため、子どもへの対応に困惑する時期でもあります。３歳を迎える頃になると、言語発達面では、３語文がほぼ完成されます。

自我の発達により自己主張が盛んになり、言語によるコミュニケーションも行われる重要な時期です。意欲と能力のズレや自己中心の意識によって保護者との摩擦が生じやすい時期です。また、入園を控え、保護者の皆様も不安なこともあるのではないでしょうか。

お子さんの健康状態、健やかな成長と基礎となる生活習慣などの確認の場、そして、子どもへの適切な対応を一緒に考える場として、１歳６か月児そして３歳児健康診査を受けましょう。

（健康課　母子保健係）